③年度の中途で採用された者の勤続期間の計算に ものとして取り扱う。 あたっては、採用年度の4月1日付で採用された

3.実施日

21年度入社、勤続10年:2016年度入社) 2026年4月1日から適用する。(勤続5年:20

10年)は、2025年12月1日以降準備出来次第、 (勤続5年) 及び2015年度に採用された者(勤続 WESTERポイント」を贈呈する。 ただし、2020年度に社員として採用された者

勤続5年及び10年の社員については、入社から一定期間が 待し、勤続15年社員を激励の対象としてきたところです。 る年次であること、2 経ち、中堅社員を目指すうえでより一層の活躍を期待す これまでは、中堅社員としての一層の活躍を期

	加味する必要があるこ 再就する中、当社を支え 援加する中、当社を支え 援い	活躍する組合員が増齢や勤続年数を問わ	用形態の多様化が進みに 採用が始まるなど、採 社 して3年度より社会人 して
年	25年	30年	定年退職
	永年表彰	_	退職慰労
	20万円	_	-
	旅行券10万 時計		懐中時計
	1日	_	_
/回	2日/回	2日/回	2日/回

社員を激励す	からのでは、 のうのでは、 からのでは、 からのでは、 からのでは、 のうのでは、 からのでは、 のうのでは、 のうのでは、 い	け らぬか 措置は、勤続 象とします。	必要があること着の観点も	紀年数を問わ	多様们力進み				
等を理由に退職した社員に対する再就職支援により、当社 ては、退職以前の勤続年数を通算します。									
0年	15年 20年		25年	30年					
	激励		永年表彰		Ī				
_	-	_	20万円	ı					
1万 イント	旅行券2万		旅行券10万 時計						
_	1日 ボランティア	_	1日	-					
_	2日/回 2日/		2日/回	2日/回	ľ				

今回の#

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	に対して、永年 採用の異なるもので や	ものであり、表彰と『児等して社員を激励す』をいいている。	学校に対けての哲理と 由、職 と同様、勤続5年・10 に 職前 と同様、勤続5年・10 に 職前 と同様、勤続5年・10 に 職前	intended in the second of the
勤続数	5年	10年	15年	
趣旨	激励	激励	激励	Г

1万 ポイント

という形で報いるものになります。

る功績に対して表彰 【

の期限は、付与年度の翌年度末までとなります。 付与する仕組みとする予定です。WESTER ポイント 組合員の申請に基づき、WESTERID に紐づく形で

社会保険料の変動はありません。 得税については基本的に贈呈月に課税処理を行い、 ととなります。又、標準報酬には反映されないため、 住民税については翌年度の住民税に反映されるこ 所得税並びに住民税の課税対象となります。所

補

採用された者については、退職以前の勤続年数を通 に対する再就職支援により、当社に社員として再 カムバック採用や育児等を理由に退職した社員

п 連盟等主催のレクリエーション活動に おける宿泊費助成額の引上げについて

実施内容

度とした実費相当額の補助へと引き上げる。 相当額を補助しているところ、1泊7,000円を限 成について、現在1泊5、000円を限度とした実費 連盟等主催のレクリエーションにおける宿泊費の助

2. 対象者

社員及びグランドシニア社員を対象とする。 社員、契約社員、専門社員、シニア社員、シニアリーダー

3. 実施日

大会から適用する。 2025年10月1日以降に開催される助成対象の

【参考】連盟等主催のレクリエーションにおける宿泊費 の助成対象となる大会

- 連盟主催の「JRグループ大会」および「JR西
- 部外主催の「国際・全国大会」「地方大会」

解説

図ることを目的としています。 性化および社員の士気向上、健康づくりの促進を 軽減させることを通じて、連盟活動のさらなる活 状の宿泊費上限額を引き上げ本人の自己負担を 昨今の宿泊料金の高騰状況を踏まえ、現

副賞

その他 有給休暇 保存休暇フレッシュ休暇)

動(バンド、文学など)の計2連盟が活動しています。 スポーツ活動(ラグビー、軟式野球など)と文化活

Ш 関する見直しについて勤務時間中の組合活動に

見直し内容

性委員会定期委員会に正規の構成員として出席する 場合」を追加する。ただし、年1回2日以内に限る。 勤務時間中の組合活動として、新たに「地本青年女

2. 実施時期

性委員会定期委員会より適用する。 2025年10月1日以降に実施される地本青年女

解説 当する場合で且つ、会社の承認を得た場合には勤務時 して認められていませんが、労働協第6条の各項目に該 間内に行うことができます。 勤務時間中に組合活動を行うことは原則と

に「組体」が認められます。 員)として出席する場合で会社の承認が得られた場合 性委員会定期委員会に正規の構成員(役員、代議員、委 本大会、地本委員会、中央執行委員会、地本執行委員 会、中央本部青年女性委員会定期委員会、地本青年女 今回の見直しにより、中央本部大会、中央委員会、地

席届」に必要事項を記入し、職場に提出しなければなり 正規の構成員であることを確認する必要があるため、 ません。(構成員名簿、会合等出席届の提出期限につい 労働担当窓口に「組休」申請する組合員は、「会合等出 主催者は構成員名簿(役員、代議員、委員)を支社等の ては、勤務確定前に提出することが望ましい) 具体的な手続きとして、会社に承認を得るためには、

ます。減額された給与(基本給、エリア手当、職務手当) その時間について会社からの賃金が支払われないため、 は、「組休適用に伴う減額証明書兼申請書」と給与明細 に基づき、JR西労組が補填します。 翌月の給与(基本給、エリア手当、職務手当)が減額され 注意点として、「組休」が承認されると、その日または

【労働協約|部抜粋】

(勤務時間中の組合活動)

第6条 組合員(専従者を除く。以下同じ。)は、勤務 時間中に組合活動を行うことはできない。

(5)中央本部大会、中央委員会及び地本大会、地本委 承認を得た場合には勤務時間内に行うことができる。 員会に正規の構成員として出席する場合 ただし、次の各号のいずれかに該当し、会社から

(6)中央執行委員会及び地本執行委員会に正規の構成 員として出席する場合

ただし、年1回2日以内に限る。

(7)中央本部青年女性委員会定期委員会及び「地本青年 女性委員会定期委員会」に正規の構成員として出席

(8)その他組合の申し出により特に会社が承認した場合 ただし、年1回2日以内に限る。

賃金の控除)

第7条 会社は、組合活動のため勤務に就かない者に だし、前条第1号から第4号に該当する場合につい は、その日または時間について賃金を支払わない。た ては賃金は控除しない。

第8条 組合及び組合員は、第6条第5号、6号、7号、 必要事項を記入のうえ、少なくとも10日前までに会 する場合には、会社が別に定める「会合等出席届」に 8号の定めるところにより、会社の承認を得ようと

会社から別途説明された項目

書庫の便宜供与に関する見直しについて

- 実施内容

とする。 書庫の利用責任者について、最大2名まで認めること

解説

になります。

請求書」と

こは、主なものとして電気・ガス・水道等

新住所と本人名義が分かる公共料金の

2 付記

する組合員に限る。 利用責任者は引き続き書庫を設置する箇所に在籍

3.実施時期

2025年10月1日以降、準備出来次第実施する。

解説 持することができます。 2名とする申請を行うことで、書庫の鍵を2つ所 各箇所の分会から書庫の利用責任者を

移転休暇の取り扱いの見直しについて

П

1. 見直し内容

退寮する場合は対象外としていたところであるが、対象 として取り扱うこととする。 移転休暇について、独身者及び単身赴任者が入寮又は

ショナルブック」

「接客プロフ

높

接客サービスマ

2 . 着用方:

2.実施時期

う引越しから適用する。 2025年10月1日以降新たに発生する転勤に伴

靴(パンプス・ロー編)」に定める革

8転勤に伴い引越しをする場合 … 号の1に該当する事由により勤務しない場合で、 会社が認めた場合は、有給の休暇として付与する。 (有給休暇)第163条 組合員が次の各

対象外としています。 休暇の申請は、自己申告よるもので、新入社員は 1回に限り2日以内

見直しについて賃貸住宅補給金申請時の添付書類の

Ш

1 内

るが、これを提出することが困難な場合は「新住所と を可能とする。 本人名義が分かる公共料金の請求書」の添付での代用 て、現在は「住民票記載事項証明書の写し」を求めてい 賃貸住宅補給金を申請する際の添付書類の一つとし

2.実施日

申請より受け付ける。 2025年10月1日以降の賃貸住宅補給金の新

駅 員・乗務員のスニーカー着用について

IV

り組みとして、 づくりを進め 機動性の向 下記のとおり駅係員・乗務員のスニーカー着用、ワークエンゲージメントを高めていくための取 上と労働災害事故を防止し、働きやすい環境

を可能とする。

士、車掌、客 1.対象者 駅係員、運 室 転



シューズに加えて、風 ウォー キン グ 黒のスニーカ 着用を通年に にしわの

靴紐やロゴ、ソール部分も含め、黒-

たり可能とする。 (着用に際しての注意点)

- 全て黒一色とする。 ソール部分、ロゴ、ワンポイント等も含めて
- (2)デザイン性が高く、カジュアル過ぎるものは着用 しない
- (例)高いソール(厚底)、ハイカット、靴紐・留め 具のないタイプ(スリッポン等)
- (3)かかとを踏むなど、身だしなみとして不適切な 着用方はしない。

3.実施時期

2025 年10月1日以降

4. その他

関係規程

類は後日改訂する。